

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学消化器内科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025年 3月

福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 阿部 和道

■ 研究課題名

非侵襲的検査による原発性胆汁性胆管炎の組織学的所見と予後予測を検討するための後ろ向きコホート研究

■ 研究期間

2025年4月～2030年3月

■ 研究の目的・意義

原発性胆汁性胆管炎(PBC)は原因不明の慢性進行性肝疾患です。原発性胆汁性胆管炎と診断されても無症状で診断されほとんど病態の進行しない場合から、診断時にすでに進行した肝不全を呈しており短期間で死亡へ至る症例まで幅広い病態が存在しますが、肝不全が進行した方では肝移植が有効な治療となり得ます。そのため診断時に病期の進行度や重症度を予測することは治療方針を検討する上で重要です。肝生検は病期の診断だけではなく重症度の判定にも重要な検査ですが合併症を起こす可能性があり、実施することが難しい場合があります。そのためPBCにおける非侵襲的検査による重症度の予測方法が複数報告されております。しかしそれらの比較や、治療開始後の反応性、診断後の病期の進行との関連は十分には明らかとはなっていません。本研究では原発性胆汁性胆管炎患者の診断時の非侵襲的検査と組織学的特徴、治療反応性、そして予後との関連を明らかにすることを目的としています。本研究によって、よりよい非侵襲的検査方法がわかることで、負担の少ない医療を提供できる可能性があります。

■ 研究対象となる方

本研究では1990年1月から2024年12月の期間に福島県立医科大学附属病院消化器内科で診断、加療された原発性胆汁性胆管炎患者を対象とします。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、併存疾患、生化学検査、画像検査、治療内容、原発性胆汁性胆管炎に関する組織学的所見、治療後どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025年4月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学消化器内科学講座であり、研究責任者は消化器内科学講座 阿部和道です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学消化器内科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関などへの試料・情報の提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理人の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部学消化器内科学講座 担当： 林 学

電話：024-547-1202 FAX：024-547-2055

e-mail：m884884@fmu.ac.jp